

## 降雨時に擁壁（間地ブロック造）の隙間から雨水が流れ出て心配

相談 内容	<p>傾斜地に建築された住宅の敷地が間知ブロックの擁壁で造成されている。最近、降雨時にブロックの隙間から雨水が勢いよく流れだしている。擁壁が崩れてしまうのではないかと心配している。安全性の確認をしてほしいがどのような業者に依頼して良いのかわからない。紹介していただけないか。</p> <p>流れ出ている水は降雨時のみで濁っている。擁壁の高さは2 m程度で擁壁と建物との間の距離はあまりない。</p>
回答 内容	<p>擁壁の安全性については、実際に現地を確認してみなければ判断できません。</p> <p>擁壁の種類にもよりますが、間知ブロックで造られた擁壁は、一般に「もたれ擁壁」といって、ブロックそのものが背面の土圧に対して抵抗するのではなく、元々の地山を覆う形でブロックの重みによりその地山にもたれ掛かって表面を保護している構造形式となっています。ブロックの裏側にある土の質や擁壁の高さ等により、その擁壁の構造が建築基準法のほか、宅地造成法等規制法や都市計画法に基づく開発許可基準等によって決まっています。建築基準法等の基準では、降雨時に擁壁の背面に浸透した雨水を吐き出すために設けられた水抜き穴から雨水が流れ出るように設計、施行されなければなりません。雨水が排出されなければ擁壁背面に雨水がたまり、背面の圧力が高まって擁壁が倒壊する恐れがあります。</p> <p>従いまして、水抜き穴ではなく、ブロックの隙間から雨水が流れ出ている状態は一時的には良いことと思われませんが、放置すると背面の土が流れ出て地盤そのものが崩壊することも考えられます。擁壁が倒壊した場合、一般に擁壁上部から住宅の基礎までの距離が擁壁の高さの1/2以下の場所に、住宅の倒壊等の重大な被害も想定されます。早急に専門家に現地を確認して対策を講じることが必要です。</p> <p>相談いただいた機関（団体）では個別の業者紹介は行っておりませんが、まずは近隣の建設業者か建築士に相談いただくことをお勧めします。</p>